

関東龍門会報

〔〈旧制〉加治木中・加治木高女・加治木高校同窓会〕

発行人
 会長 塩村 朱美
 発行先 関東龍門会 事務局
 HP www.ryumonkai.com/
 幹事長 海江田 健司 (〒101-0064)
 東京都千代田区神田
 猿楽町2-2-3 NSビル8階
 〈メールアドレス〉
 kenji.kaieda@gmail.com

《令和2年、新役員体制および総会(懇親会)中止のご案内》

高校生活で

「転機」を胸に羽ばたく

◎大神紅葉さん(令和02年卒・高72期)

穏やかな陽射し包まれながら、私は加治木高校卒業という人生の節目を迎えました。桜舞う、というよりコロナ舞う中で卒業式を行うことになり、恩師と卒業生だけの少し寂しい式にはなりましたが、退場の際には先生方が花道を作り、割れんばかりの拍手で私たちを送り出してくださいました。花道を通ると、3年間の思い出が次々に蘇り、先生方の「おめでとう」の言葉に胸が熱くなりました。厳しい状況の中、先生方の尽力により素晴らしい式を挙行していただき本当に感謝しています。

この卒業式も思わぬ出来事でしたが、高校生活を振り返っても、思わぬ出来事の連続だったように思います。そのような多くのことを経て、私自身も高校入学時には考えられなかった趣味や興味を持つようになりましたが、特に、自分の将来の夢は最も思わぬ方向に進んで行きました。

私は幼少期より薬剤師になるという夢がありました。しかし、学習の難易度が上がるにつれ理系分野が苦手になりました。そして高校生になり、はっきりと模試の結果にもその苦手具合が露見し、夢を諦め文系に進む選択をしました。ここで私は、今後の目標を見失ってしまいました。しかし、ここで転機が訪れます。

きっかけはある友人の言葉。

「え？大神ってアナウンサーになるんじゃないの？」友人数名と将来の夢の話をしていった時、そのひとりが驚いた様子でそう言ったのです。その友人は高校で



知り合ったため、私が薬剤師になると意気込んでいた友人に、友人に

とって私は、放送部の放送オタクだったのです。確かに、私は理系に進めないと分かってからは、もともと好きだった部活にさらに打ち込み、上級大会に出場できるまでになっていました。それを見ていた友人は、私はその道に進むのだろうと思いついてくれたようでした。

「アナウンスやってる時の大神めっちゃ楽しそうだし、めちゃくちゃ上手いんだからその特技活かせばいいじゃん」そう言われて、今までのもやもやした気持ちが一気に晴れていくのを感じました。

その後、私は声の道に進むために今まで以上に部活に全力で取り組み、勉強も今までの分を取り返せるように努力を重ねました。声の道に進むなら、関東に進学して、大学で学びながらナレーションのレッスンも受けたいと新たな目標も出ました。そしてこの春、私はその目標を実現しようとしています。

今後もしっと想像もできないような出来事に出会うと思います。不安はありますが、今はそれ以上これから始まる関東での新生活への期待でいっぱいです。夢を手放さないように精一杯努力し、大学生生活を全力で楽しみ、新たな関東龍門会の一員として、先輩たちに先輩らしい姿を見せられるよう成長していきたいと思えますので、これから見守っていただけると幸いです。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

〈令和2年総会(懇親会)中止のお知らせ、及び、会費納入ご寄付のお願い!!〉

いつも暖かい応援を誠にありがとうございます。

残念ながら、本年の総会(懇親会)中止を決定いたしました。

役員一同肅々と準備を進めて参りましたが、コロナウイルスはまだまだ終息の兆しの見えない状況で

皆様の安全を第一に考え、現在は大規模な集会を自粛すべきと判断いたしました。

経済的な影響は計り知れず、困難に遭われている方々もいらっしゃるかと推察いたします。

その中でのお願いは大変心苦しいのですが、お差支えのない範囲で、関東龍門会へのご寄付を募りたく存じます。

皆さまの会費、及びご寄付で成り立つ本会も、総会(懇親会)中止で大打撃が予想されます。

昨年は総会参加者さまの過半数がおつりをご寄付くださり、深謝いたします。

本会存続のためご協力いただける方は、少額で結構ですので、ご無理のない範囲で、

お力添えのほど何卒よろしくお願い申し上げます。

来年六月、皆さまが健やかに総会(懇親会)を迎えられることを切に祈って。

関東龍門会会長 塩村 [久永] 朱美 (昭49年卒・高26期)



会長あいさつ



関東龍門会会長 朱美 塩村 (旧姓久永) (昭49年卒・高26期)

思い出の良き上書きを

田舎暮らしを嫌って18で上京して以来、50過ぎて、酒匂元会長に半ば強制的に龍門会役員へ引き入れられるまで、龍門会との関わりは全くありませんでした。

高校時代、未熟な私は勉学を軽蔑し、読書三昧、赤点祭り、卒業すら危ぶまれるほどで、数少ない友人と心を許した先生以外、加治木高校に対してあまり良い思い出は無かったのです。

しかし、龍門会への関わりを深めていくと、個性溢れる魅力的な方々がなんと沢山いらつしやることか。

歳もとり、郷土への愛も深まり、加治木高校への思いが、どんどん良きものに上書きされていき、忘れていたはずの楽しいエピソードも蘇ってきました。

結局思い出は、良きものにも悪きものにも、幾らでも上書きされるものです。

そしてそれを決めるのは、人々との繋がりがりだと思っております。

長女に娘が生まれた時、オーストラリア人の娘婿は、「始良の美しさに心打たれたので、娘に『始良』と名付けたい」と言いました。

私にとって始良は愛しい故郷ですが、客観的に見れば美しい場所など日本中にあります。

美しいと感じてくれたのは、まさに私へ

の愛に違いなく、しみじみと嬉しいものでした。

私と娘婿の関係が心暖まるものである限り、婿にとつての始良はいつまでも美しい場所でありましょう。

心暖まる友達や先輩、先生との繋がりがあある限り、良き人々との交流が増していく限り、加治木高校の同窓会は美しく美しいものでいられるでしょう。

龍門会が、人々との繋がりをいやまし、皆さまの加治木高校への想いが益々良きものの上書きされますように、微力ながら、頑張ります。

みなさま、どうぞ暖かいお心で、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈略歴〉

塩村 朱美(旧姓久永) 49年卒業・高26期
青山学院女子短期大学国文科卒
子育て後 学士習得
資格 英検一級
趣味 読書 ベリーダンス 中国語学習
特技 足で鶴を折ること

NEWS !
&
加治木高校
TODAY



『社会人生活1年目を過ごして』

日々は経験の毎日を送り

平成27年卒 (67期) 鬼丸 貴

この文章は、令和2年3月4日に書かれたものです。

季節の変わり目となってまいりまして、一日を過ごす服装も冬物か春物が迷う日々

となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？世間では新型コロナウイルスが世界的に流行し、様々な催し物が延期になったりドラッグストアからマスクやトイレトペーパーが品薄になるなど混乱しております。体調を崩されせんようご自愛ください。

私は昨年4月に上新電機株式会社に新卒採用していただき、さいたま市の浦和美園イオンモール内の店舗で販売業務を行っております。まだまだ分からないことだらけの青二才ですが、この度同窓会報への寄稿という大役を仰せつかり誠に恐縮ですが書かせていただきます。

大学時代に学内で行われていた業界セミナーで流通や卸売業について学び、自分たちが普段手にするもの、口に入れる食べ物などのようにお店に並ぶのかを知りました。私も多くの方々に良い商品を提供したいと思えました。初めはメーカーと小売会社を繋ぐ卸売業を考えていましたが、小売業の方がより多くの方々と接することができると考えたのが上新電機に入社したきっかけです。加えて、幼い頃から阪神ファンであった私は阪神タイガースと少しでも関係のある会社に入社したいと考えていたのもきっかけの一つです。

私はさいたま市の浦和美園イオンモール店内にあるテナントに配属されました。イオンの中に入っていることもあり、数ある店舗の中でも多くのお客様が来店される店舗です。初めは洗濯機や冷蔵庫といった白物家電、続いてエアコンや空気清浄機といった季節家電、そして現在はテレビやカメラといった黒物家電を担当しています。新入社員としては珍しく一年目で3つの売

り場を経験させていただきました。覚えることが多いので苦労しておりますが販売方法を身につけることができました。さらに知識をつけ、より良い商品提案をできるようになることが今の目標です。

さて、つい先日鹿児島に大学を卒業して以来1年ぶりに帰省することができました。実家から桜島を眺めつつ、高校時代勉強や部活で弓道に励んだ3年間を思い返しました。どちらもあまり良い成績を残せたわけではありませんが、大切な友人たちと出逢えたことや眠い目をこすりながら受けた朝補習は良い思い出です。私は大学で親元を離れ東京に出ました。右も左も分からなかった孤独な上京当初、関東龍門会はとても貴重なコミュニティとなりました。東京と地元の懸け橋となるようにこれからも微力ながらお手伝いさせていただきます。

最後になりますが、多くのことを今吸収して多くの方々の生活が豊かになるような家電をご紹介できるようにこれからも頑張っております。



〈鬼丸貴さんは、大学1年生から関東龍門会の活動に参加。平成28年からの3年間は、国内派遣事業「龍門の樺」で、東京滞在中の後輩のサポートの中心として活躍。社会人2年目を迎え、今後ますますの活躍が期待される。〉

今年度の「龍門の櫛」は関西で実施

母校の創立120周年を記念して、同窓会事業の一つとして始められた国内派遣事業（通称「龍門の櫛」）も回を重ね、今年度が5回目の実施になります。（平成28年は、関東龍門会主体によるブレ実施）毎年、8月初旬の2泊3日の旅程で、大学見学や同窓生の勤務先訪問、大学生の先輩とのコミュニケーションを通して、母校に学ぶ後輩たちにささやかなきっかけ作りをしてまいりました

オリンピック開催の今年は、宿泊先の確保が困難なことや都内周辺の混雑が予想されることから、「龍門の櫛」の東京開催は諦めざるを得ませんでした。「オリンピックがあるがなかるうが、加治木高校生の成長の機会は絶やすまい」と、近畿龍門会（安栖一美会長・高19期）が関西での実施に名乗りを挙げて下さいました。近畿龍門会「龍門の櫛」プロジェクトチームが組成され、学校との連携も密に、8月に向けての準備が着々と進行中とのことです。今夏は、関西の地で、後輩たちが何かのきっかけをつかんでくれることでしょう。

来年は、また、東京での「龍門の櫛」が実施できます。関西での継続実施となれば、後輩たちへのきっかけの提供はますます拡がります。派手さを求めず、出来る範囲で、櫛を途絶えさせることなく、積み重ねていきたいと思えます。

今年も来年も、そしてその先も毎年、若き希望の眉上げし加治木高校生が、東京で関西で、心を躍らせることを想像すると、楽しくなりません。

※関西在住の同窓生に、今夏の「龍門の櫛」の実施について、お知らせいただけますと幸いです。

“あの人”を訪ねて



関東龍門会元会長
本田勝さんに寄稿
して頂きました。

■本田 勝さん（昭和35年卒 高12回生）

〈略歴〉
加治木高校昭和35年卒、早稲田大学第一理工学部で数学を専攻、卒業後、昭和40年伊藤忠電子計算サービス(株)に入社、昭和43年 日本大学大学院理工学研究科修士課程に入学、44年 中退、日本科学技術研究所を経て、昭和48年 獨協大学経済学部専任講師昭和60年 教授、情報センター所長などを歴任し、平成24年 定年退職
現在 同大学名誉教授



学びの時代のこと

加治木中学から加治木高校、そして上京後は浪人生活のあと大学へ進学、数学科で学ぶ。

入学の年の4月に人類最初の有人宇宙旅行に成功したソ連のガガーリン少佐が、翌年5月に来日し早稲田大学にも来学、大隈講堂での講演があった。もちろんロシア語での通訳つきの講演だったが、たまたま第二外国語はロシア語を選択していて、前年のガガーリン少佐の宇宙からの声は日本の

ラジオ放送で録音して聴いてはいた。しかし直接ロシア人の肉声を聴くのは初めて。講演会では内容よりも宇宙旅行者本人である、その姿に感動した。

その頃から、世の中は電子計算機の時代に入っていた。学科の通常のゼミは4年からだだったが、3年から回路網理論のゼミを募集する先生がおられ、私もこのゼミに入った。3年の春休みに、先生が開局間近の東京12チャンネル（現在のテレビ東京）の開局記念番組にドラマの作製を依頼され、ゼミのメンバーで担当することになった。

すでに開局している他のテレビ局のかなりのドラマの脚本が与えられ、一つのドラマの開始から終了までの多くの要素の状況を分刻みで抽出し、壁に貼った模造紙に書き出した。整理したデータは作家の安部公房氏に渡され、脚本が作られたようである。開局当日、フランキー堺ほかの出演で放映され、奇妙な形のSFまがいのドラマであった。

また大学4年時は東京オリンピックの年、都庁からの出向でオリンピック組織委員会にいた兄から、マラソン当日の入場券が手に入ったので、国立競技場で観戦させてもらった。今でも話題になるエチオピアの裸足のランナー、アベベ選手のゴールを目の前で応援できたことは、学生時代の最後の思い出として写真とともに心に残っている。

社会に出て

卒業後は、伊藤忠電子計算サービスに就職し、様々な分野のプログラム作製に関わったが、数値計算と計算機のことを更に学ぼうと3年で退社し、先輩からの勧めもあり、習志野の日本大学統計学科に加わる

ことになった。私は大学院生として大学院理工学研究科に籍をおき、実際は習志野で過ごしたのだが、スタートして2年目のこの学科は、結局は日本では最初で最後の統計学科ということになった。というのは、この年はあの日本中で大学の学生運動や日大闘争が起こった年で、統計学科の教育方針が大学の方針に合わぬとの理由で、学科の教授陣が退陣をせまられ、統計学科は事実上の解体となってしまったからである。筆者も、教授陣がいなければ意味ないと考え、教授陣と一緒に声明を出して退学した。

その後は日本科学技術研究所を経て、獨協大学で統計学担当の職を得ることができた。数理統計学では、少数サンプルからの推測をいかに行うかが研究対象であり、当時は計算機によって再サンプルを作り出す方法が色々と考えられていた。筆者もそのある方法に興味を持ち、その発案者がアメリカ・スタンフォード大学統計学科に在籍ということ、これまで2回にわたり、客員研究員として滞在し、発案者といろいろな意見を交換してきた。現在ではネット上のビッグデータを統計的にいかに扱うかが主流となってきた。

関東龍門会のこと

この会には初代の若松会長の頃から出席してきているが、はからずも平成23年度、24年度と会長職を仰せつかり、皆様方の助けを得ながら、大役を務めることができた。これからの関東龍門会が若い世代の多くの会員の出席を得て、ますます盛会になっていくことを望んでいる。

同窓生だより

今年の総会時「返信ハガキ・通信欄」から転載。そのため時期に1年のずれがあります。ご了承ください。(令和元年度総会出席者には速報版を配布しました。)

◆各地の皆さんの楽しい素晴らしい活躍、それは私の元気のもと、龍門会の便り毎年楽しく拝見しています。私がここに転居しては1年半、新しい友達ができ、何とか、かんとか元気で頑張っています。昨年、敬老祝賀会で突然、「白寿木記状」をもらい、びっくり、また、新しい元気が湧いて、もう、しばらくは白黒の石ならべができそうです。今年、令和新年の素晴らしい総会、懇親会、一段と盛り上がるでしょう。横浜から懸命に応援します。(中・昭13)吉満肇(横浜市)

◆89歳になり最近腰痛が少々あり。でも、内外の旅行を楽しんでいます。同窓会名簿も発刊されなくなり、残念です。(中・昭22)矢野貞徳(春日部市)

◆令和に入り卒寿を迎え感謝しております。(高・昭23)市来秀夫(横浜市)

◆電動自転車です10〜15分くらいまでが行動範囲になりました。足腰を鍛錬してこなかったことを反省しています。(高・昭23)吉川耕一(稲城市)

◆本年88歳になりました。週2回デイサービスに通っています。足腰が弱り杖を頼りに歩いています。関東龍門会の益々の発展と皆様の御健康と幸福を心より祈念致します。(高・昭25)鮫島貞隼(横浜市)

◆昭和20年中校庭で米軍機の空襲に追われていた少年、令和元年まで生き延びて老化に追われています。有り難いことです。(高・昭25)森山耕二(東村山市)

◆残りの人生、やりたいこと好きなことを楽しんでいきたいと思えます。(高・昭26)酒匂昭男(板橋区)

◆高齢になって思うことは、高校の仲間とは、死ぬまで付き合いたいと思えます。高校3期(昭和26年卒)は未だに年賀状のやり取りを心掛け、毎月10人が集まって元気を分かち合っています。毎月ですよ！時々20人も集まります。今年も数えて米寿です。祝いを相談中。(高・昭26)本田一(新座市)

◆「赤毛のアン」の原書講読会は450回を超えました。ワープロを使わないで手書きで翻訳していますと、忘れていた漢字が多く、英和辞書より国語辞典を引く回数の方が遙かに多くなってしまいました。プールには週2回通っています。北海道全体の水泳大会では私の年齢区分(85歳)89歳では私以外には泳ぐ人がいなくなりました。スイスイト ススマヌ スイマー 浮き沈み、そっと泳いで波は立てずに。(川流れの河童)

◆令和元年度の総会に参加出来ることに感謝しています。(高・昭27)松屋勝己(佐倉市)

◆熊本在住60年を経て昨秋最後を迎えるため、長男宅で世話になっています。全国のアナウンサー採用試験を受けまくって、昭和33年TBS系の熊本放送に、男性1名採用の中に入り込み、加治木高校初のアナウンサーとなりました。(高・昭28)有村哲郎(大田区)

◆年号が変わり、関東龍門会も昭和、平成、令和と三代に変わる事になりましたね。有難い事だと思えます。継続されている会報で、同時期に大楯の下に集った方々の面影を追うのを楽しみにしていました。何時も消息を寄せておられた方々の名が次第に消えていくようになり淋しい限りです。体調を崩されたか或いは…と、年齢相応に考えてしまいい歳を超えると経年劣化は否めません。(高・昭28)鶴田康(川崎市)

◆85歳の割に元気で年6〜7回のカラオケ大会に出頭張っております。(高・昭29)岩元隆(八王子市)

◆NBCR対策推進機構の業務に従事しております。平成31年1月に千葉県と弊機構の共催で「千葉県危機管理フォーラム2018」を開催しました。今年のワールドカップラグビーや来年のオリンピックパラリンピックを控え、CBRNET対策に重点を置いたフォーラムでオリ・バラの近隣都県の区市からも参加いただき参加者は千名でした。(高・昭29)榎谷惟光(千葉市)

◆色々な方々との交流の中から、良い刺激をもらい、人生を楽しんでいます。(高昭29)永長隆房(文京区)

◆第44号の永岩俊道さんの記事を読み感動しました。防大入学以後、日本の平和と独立を守る為の崇高な責務を全うされた事に対して、心から敬意を表します。ミグ戦闘機の函館空港強行着陸により超低空防空の弱点が分り、日本はE2C等を導入しました。(高・昭30)園田恒明(草加市)

◆1998年1月、38年間働いた電通を定年退職。朗読ボランティアの世界へ。目のご不自由な方々への対面朗読・交流会・毎月の市の広報紙等の録音など。「朗読のつどい」での朗読、放課後学童クラブでの絵本読み聞かせ、月2回の勉強会など、趣味のコンサートや芝居で充電しながら続けて参りましたが2019年3月末で引退。これからは趣味と終活に励みます。(高・昭31)藤井しげ子(旧姓・小出水)(春日部市)

◆ご案内有難うございます。昨年の総会には体調を崩して出席出来なかつた。会報によると、同期生の同期会も傘寿の会を最後に閉じたので淋しい。今年も総会には欠席だが、同窓生だよりへの投稿は続けたいものだ。(高・昭31)堀之内亨(町田市)

◆ひ孫の末っ子が小学1年生になりました！(高・昭32)秋山淳子(旧姓・稲留)(足立区)

◆市来経営コンサルティング代表として時々、人事・経理・財務・総務等、経営全般のコンサルティングの仕事をしています。(高・昭32)市来研志(千葉市)

◆盤寿を迎え、行動範囲は狭くなりましたが健康第一に過ごしています。(高・昭32)窪田幸男(小田原市)

◆心はいつも青春時代と思っているのですが、あつという間に80歳です。元気でいる事が一番と思いつつ、日々を楽しんでおります。(高・昭33)尾崎初代(旧姓・川辺)(調布市)

◆元気で過ごしています。毎々お手数かけます。(高・昭34)濱田伸一(世田谷区)

◆令和元年の総会に今年も元気に参加出来る事に喜びを禁じ得ません。先輩方、同期生、後輩の方々との近況を語り合える事を楽しみにしています。(高・昭34)別府陸雄(川崎市)

◆関東龍門会報、拝見しました。すばらしい内容です。特に大學生と新社会人の登場は新しい企画で関東龍門会の今後の発展に寄与すると期待しています。ゴルフコンペを盛大にしましょう。(高・昭35)末永豊邦(鹿児島市)

◆現在、宮崎の建設コンサルタントに勤務し、時折現地に出かけています。この年(77歳)になっても働ける健康と気力をして家内に感謝しつつ、専門の地盤工学に関する仕事をしています。家内とは、1959年、高校2年の時にクラスメイトになって以来、60周年となりました。お陰様で2人とも元気に過ごしております。高校時代には、当時の皇太子殿下と美智子妃殿下ご成婚、長島選手の巨人軍入団、加高先輩の鶴ヶ嶺関の新婚旅行を兼ねた母校訪問などいろいろな出来事が思い出されます。関東の13期生は、毎年10月第3水曜日に懇親会を開催しております。今年から常任幹事として雑用係を担当することになりました。(高・昭36)新村和規(旧姓・鐘ヶ江)(船橋市)

◆庭に今年も梅、こぶし、桜、花木、バラ、紫陽花と季節の花が次々と咲いてくれます。人生の花は。令和の時代も皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(高・昭36)高橋ミチ子(旧姓・福永)(春日部市)

◆小さなスタートでした「きもの教室」も、42周年を迎えました。くちこみ紹介だけで入学して来られる生徒さん達の温かい気持ちに感謝です。他県

からも通って来る若い方のキラキラ輝く瞳と「楽しくてたまらない！」との言葉に励まされて、大切な日本の「きもの文化」を伝え続けて行かなければ...と、願っております。

◆令和初年度に喜寿を迎える事になるとは...世の中偶然はないといわれますが、本当に偶然だったのでしょうか。巡り合わせを大事にしたいと思います。

◆「平成」から「令和」へと譲位が無事に行われ感動しました。この記念すべき令和元年の総会において昭和37年卒(高14期)は喜寿の祝いをしていただけのこと誠に幸甚に存じます。気張って声掛けで多くの仲間が馳せ参じてくれそうです。一方、当14期全体の「喜寿同窓会」を今年11月頃に故郷の霧島温泉郷で開催する予定です。2020年「東京オリンピック」も目の前に迫ってきました。

◆皆さん、その時も健康と幸せに感謝しながら笑顔で元気で会えるよう、チェスト！ キバイモン！(高・昭37)藤島義行(旧姓・増田)(藤沢市)

◆67回横浜書作展に於いて3月、会員特別賞を頂き身の引き締まる思いです。これから先も今まで通りのペースで続けて書いていけたら良いと思っています。(高・昭37)米山滋子(旧姓・森)(横浜市)

◆今年8〜9月頃、実家に帰る事になりました。永年お世話になりました。機会があれば今後とも関東龍門会総会・懇親会に参加したいと思っております。(高・昭37)城憲夫(千葉市)

◆職業としては無職となりましたが、ボランティア的な役割に引張り出され、忙しくしています。(高・昭40)森山浩二(練馬区)

◆一人の同級生をこの程故郷に見送った。長年同じ東京の空の下にいたのに、もっと沢山遊べば良かったねと言いつつ。今度はその分も故郷の幼なじみ達との交流が始まるのはうらやましい！が、加治木は昔程遠隔ではない。遠い友、近くの友、皆いいものだ。一日一日大切に生きていこう！(高・昭41)坂口義子(旧姓・白尾)(文京区)

◆家族一同、元気にやっています。(高・昭41)藤井誠(厚木市)

◆今年も参加させていただきました。元気に又、皆様にご会えるのを楽しみにしております。(高・昭41)三浦佳代子(旧姓・山田)(板橋区)

◆今年1月末に現役を引退しました。改めて晴耕雨読の生活に復帰する事になりました。(高・昭41)安田文二(旧姓・岩井)(八王子市)

◆パソコンやスマホが苦手だ。現役であれば隣の人にその都度教わりながら、スキルを上げられたものだが...。リタイヤ後、身近に教えを乞う人もいない。PC教室の先生に時間を取ってもらい、龍門会の幹事役をなんとか遂行できるような役員の皆様協力してもらいながら必死でついて行っています。これも70歳を過ぎてのチャレンジだと思ふこの頃です。(高・昭42)國生幸一(川口市)

◆関東在住40年になりましたが初参加です。よろしくお願ひ申し上げます。楽しみにいたしております。(高・昭42)瀬戸雅代(旧姓・立山)(坂戸市)

◆いつも楽しみながら拝読させていただいています。(高・昭42)豊田友子(旧姓・相生)(川口市)

◆父の法事で鹿児島に帰省し、弟宅に長期滞在中です。両親が鬼籍に入り、実家(両親の家で、私が馴染んだ家)はなくなり、寂しい限りですが、同級生らとランチ、夕食会を重ね、昔話に花を咲かせ、故郷を満喫。出来るのは有難いことです。(高・昭42)藤井豊幸(さいたま市)

◆健康に注意して病気になるまいよう気を付けています。(高・昭42)三浦正義(横浜市)

◆今年古希の年なので高校、中学とも同窓会があり、鹿児島へ足を運ぶ機会が増えそうです。(高・昭43)大久保令子(富士吉田市)

◆年内の半分を加治木で母と過ごし、畑や山の手入れをしたり、加治木高20期会と称して県内居住の同級生と定期的にゴルフコンペをして旧交を温めています。(高・昭43)永元幸雄(川越市)

◆久しぶりに参加します。また大いに楽しみたいと思

います。(高・昭43)橋浦敏子(旧姓・松田)(横浜市)

◆骨折った身体がどうにか動ける事に感謝しつつ、千葉で野菜作りに汗を流して2年になります。(高・昭44)岩井隆一(旧姓・福元)(文京区)

◆元気に仕事出来るのがうれしいです。皆様に会えるのを楽しみにしています。(高・昭45)安楽宗二(船橋市)

◆毎年、会報や龍門会の案内を送って頂きありがとうございます。両親も東京へ移り住み、帰鹿する事が無くなりました。懐かしく思い出して参加してみたいと思います。宜しくお願ひ致します。(高・昭45)葉山恵(旧姓・村山)(富士吉田市)

◆職場で最年長となり、周りから年寄り扱いをされますが、総会に出席すると、諸先輩達にお会いして元気をもらい、まだまだ頑張らねばと思っております。今年も楽しみにしています。(高・昭45)古江弘(君津市)

◆来年で卒業50年になります。令和2年4月25日(土)17時より鹿児島東急REIホテルで同期会を計画中です。元気で会いましょう。(高・昭46)木佐木学(横浜市)

◆令和最初の会、新たな気持ちで皆様とお会いできることを楽しみにしております。(高・昭46)中園悦朗(西東京市)

◆剣道連盟の運営や大学の講師等でこれ迄の恩返しつもりで今しばらくは充実した時を過ごして行きたいと思ひます。また、同窓の仲間と共に令和が良い時代になるよう語り合いたいものです。(高・昭46)比良田健一(相模原市)

◆駅より20分歩く住まいよりその半分の距離のところに引っ越ししました。駅に近い、家が広い、静か、沢山の山々が一望できるといふ利点はあるものの収納が悪い、西日がガンガンあたるなど欠点もあり人生と同じで一長一短いろいろあらあな、です。そして住めば都で今では快適に暮らしています。(高・昭47)佐々木真理子(旧姓・二木)(町田市)

◆関東龍門会に今回初めて参加します。何人の同窓

生に再会できるか楽しみにしています。(高・昭49)岩崎弘幸(富士見市)

◆山を歩いています。(高・昭49)中村俊文(小田原市)

◆皆様とお会いできるのを楽しみにしております。(高・昭49)堀之北かすみ(旧姓・前原)(町田市)

◆昨秋、帰省した時にヘチマが2本100円で売っていました。懐かしくて買って、油で炒めて味噌を入れて「とっぷんととっぷん」したかぼちゃの味噌汁を食べ大満足でした。にがごい(ゴーヤ)も2本100円でした。おいしかった！(高・昭52)赤津まゆみ(旧姓・諏訪)(所沢市)

◆還暦を迎えて第2の人生となりました。人生100年時代となり、まだまだ出来る事はたくさんあるのかなと思っております。(高・昭52)木崎八重子(旧姓・笹平)(新宿区)

◆念願の中国の万里の長城に行ってきました。中国への旅行は多少の不安がありましたが、万里の長城は膝の悪い私でも登れる所でした。(高・昭52)多田香代子(旧姓・渋谷)(横浜市)

◆龍門会報、その他を送って頂きありがとうございます。懐かしく拝見させていただきました。(高・昭53)田口良子(旧姓・野村)(江戸川区)

◆今年同期の還暦ですので、再会を喜び、祝いたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。(高・昭53)森田千佳子(旧姓・徳田)(始良市)

◆関東龍門会に初めて参加させて頂いてから早いもので20数年。また、現在、単人町出身者が集う関東地区鹿児島県人会薩摩単人会の副会長(小浜小学校区)として郷里と関わり、心が南に向かってる日々を送っています。(高・昭54)大岩根正浩(綾瀬市)

◆新潟へ単身赴任しています。(高・昭54)森木田利治(杉並区)

◆いつも会報ありがとうございます。(高・昭56)橋口孝子(港区)

◆中学生の息子の自由研究「思無邪」敬天愛人」為政清明」に続き、薩摩研究の集大成として南洲翁

の五行律詩の書を全紙で挑戦しました。選んだのは「耐雪梅花麗」の一句で有名な詩。薩摩の神髓を表す見事な大作となりました。

◆今年度50歳となる区切りの年です。よりコミュニケーションを密にしていけたら幸いです。
(高・昭58)中野広行(川崎市)

◆今年度50歳となる区切りの年です。よりコミュニケーションを密にしていけたら幸いです。
(高・昭63)海江田健司(練馬区)

◆今回、総会に初めて参加します。どうぞよろしくお祈りします。いつも会報ありがとうございます。アラフィフと呼ばれる年になり、こちら来ている同級生と会う機会も増えています。
(高・平3)西原真人(大田区)

◆ご了承ください
この他に、「総会に出席できません」、「盛会を祈ります」、「幹事に感謝します」等のメッセージを多数いただきましたが紙面の都合上割愛させていただきました。

★話題が一杯！関東龍門会ホームページ

関東龍門会では、ホームページを開設し、母校や同窓会のニュース、会報バックナンバー等を掲載しています。会員の皆様ぜひアクセスしてみてください。

◎HPアドレス www.ryumonkai.com

関東龍門会の事業について

総会(懇親会)中止に伴い、総会での承認事項であります、①令和元年度会計報告(決算書)、②令和2年度予算(案)、③令和元年度事業報告書、④令和2年度事業計画書(案)、⑤令和2年度・役員名簿(令和2年4月1日現在)は、ホームページにて開示しておりますのでご確認ください。

活動についてご提案、ご意見、および住所変更などがありましたらTEL、メール、ホームページへの書き込み等でご連絡くださるようお願いいたします。

※今春開始のNHK朝ドラ「エール」に、山口綾規さん(平成7年卒・47期)が「オルガン指導」で参加されておりました。厄介なコロナ関連の暗い話題の中で、同窓生のご活躍はマコテ嬉しい限りです！

昨年度総会・懇親会レポート

末永詩織さん(平成28年卒・高68回生)

この文章は昨年の総会直後のホットな感想を寄せて頂いたものです。

今回の総会において司会を務めさせていただきました。69期卒業の津田塾大学文学部英語英文学科3年の末永詩織と申します。今回、司会を務めさせていただいた経験から学んだことは大きく3つありました。

1つ目は、関東龍門会が多くの卒業生の加治木高校への愛校心を支えとして成り立っているということです。上京してきた際、周囲は未知の世界で、自分で1から自分のこれから生きる世界を創造しなければならぬと考えていました。その中で、関東龍門会という自分と同じような境遇の方との繋がりを感じられることは、安心感となりました。この時の体験、そして総会時の皆様のご協力を顧みて、改めて「愛校心」を見ました。

2つ目は、私たち学生に多くの期待をいただいているということ。幅広い世代の方にお集まりいただき、その幅広さに圧倒される面もありました。しかし、どの世代の方も気さくに話しかけてくださり、学生の今後の成長を願ったアドバイスやご意見を下さいました。

3つ目は、司会という役目の重みについてです。私はこれまで、このような大きく、大義を持つ会の司会をしたことがありませんでした。そのため、今回の総会で、司会という役割に安定感が必要であることを学びました。この安定感、ただ原稿を予定時刻通りに読むということだけではなく、その場の状況に応じた話し方をし、状況を快適なものに持っていくことだと考え

ます。この安定感の必要性を新たな視点として得られたことが、今回参加させていた大きな収穫でした。

これら3つにより、加治木高校への愛校心、そして貢献しなければならぬという気持ちを得ることが出来ました。現在の自分を培った母校への感謝を感じられた1日を下さった運営委員の皆様各位に感謝いたします。

龍門会が繋いだ「ご縁」

前回の会報誌へ第一面掲載記事を寄せてくれた加治佐君の文章を読んで、息子が教授をしている大学の同窓部の生徒さんだわ！彼に会ってみたい！！と、御年93歳の小林先輩が、前回の総会(懇親会)にご参加くださいました。

お席へ誘なうと、あ、殿方だけの席じゃないとチャイミングな笑顔で大和撫子の恥じらいをみせられたので、女性陣の方へご案内しました。とても元氣瀉刺としたエネルギーッシュな大先輩でした。

〈加治佐君との感激のご対面〉



〈右から海江田伶さん、小林節子さん、加治佐匠真さん塩村朱美さん〉

小林先輩からのお礼状

令和元年と言う年に龍門会に参加させて頂きました事誠に有難く初めてその盛大さに驚き感動致しました。それにしても毎年行われる総会もこんなに盛大なのでしょうね。早速に加治佐さん共の写真を送って頂き本当に有難う御座いました。

昨年度総会(懇親会)写真レポート

元号が令和になり、記念すべき最初の関東龍門会総会、懇親会が会場あふれんばかりに盛大に行われました。会員の皆様、毎年、待ち遠しく楽しみにしておられる様子がカメラ越しに、お一人、お一人見受けられました。



今回は新会長の他、新役員を選出等で新たな関東龍門会が来年に向けて結成されました。

また、地元からは多数ご来賓の方々の参加で情報の提供がなされ、高校の現状や鹿児島島の懐かしい様子が手にとるようにわかりました。



情報交換は思い切り鹿児島弁でなされ、この会ならではの熱い会場の雰囲気でした。いつも東京で言われることですが、鹿児島の人たちは郷土愛が特に強いと聞きます。

それだけ情熱が厚く、先輩、後輩を思いやる気持ちも強いのではと思えます。だからこそ、これからも役員、会員が一丸となり現状維持はもとより、少しでもプラスある会になるように望みたいですね。



〔昭和46卒 中園悦朗〕

同好会 ニュース



参加者大募集!
先輩も後輩も関係なく和やかに楽しめる会です。

ゴルフ同好会

ピギナーもベテランも是非ご参加ください!!
ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しております。80歳代から30歳代まで先輩、後輩の垣根を越えた楽しいコンペです。平日開催ですが、若手の参加をお待ちしております。
初参加の方もすぐに打ち解けることができますので今年が初めての方も是非ご参加下さい!!
〔2020年度 春季コンペ〕
6月中旬(金) 武蔵野ゴルフクラブ予定
ゴルフコンペ参加希望者はホームページ等の書き込みでご連絡ください。
幹事に直接連絡いただいても結構です。
〔幹事〕川井田信雄(高・昭45)
〔TEL〕043-25504478
〔携帯〕090-169214785



囲碁同好会

「同好会を再開しました!」

当初は活動休止予定でしたが、夏季大会と初春大会を開催しました。
参加者は60代~90代までの夏季大会6名、初春大会4名参加でした。
囲碁は、いつでも手軽に始められ脳を使うので近年は「ボケ防止」に効果大として、男女や年齢に関係なく始める人が増えており、メンバーには有段者から初心者まで揃っています。
2020年度は、7月上旬(夏季大会)と1月下旬(新春大会)の週末開催予定です。
現役の方、囲碁に興味ある方、経験者、一度立ち寄り参加してみませんか!
ご連絡お待ちしております。

〔幹事〕山元真之(高・昭49)
〔TEL〕044-522-9815

会報 同期 同情

このコーナーは卒年の同じ人のヨコの集まりのお知らせです。

■加高3期(昭和26年卒)

「てんがらもん会」

〔2019年〕有志の会
・1/24、2/14、3/14、4/18、5/23、6/1 総会参加、6/20、7/18、8/29、9/19、10/24、11/14、
◎てんがらもん会総会
12月7日(土) 合計20人(男13人・女7人)の参加
〔2020年〕有志の会
・1/23、2月と3月は新型コロナウイルス感染防止
対応で中止。4月以降は別途通知。
・7月以降は前回の会合で決定
・てんがらもん会総会の開催予定
12月5日(土) 12時30分

■加高12期(昭和35年卒)

「柁の木会」

◎第56回柁の木会
令和元年12月7日(土)
〔会場〕おいどん渋谷店
12時30分、16人参加。
二次会・カラオケ
幹事・鶴田親治郎・末吉要子

◎第57回柁の木会

令和2年12月5日予定
会場は「おいどん渋谷」を予定
※詳細は後日連絡。
幹事・清水丈暢・渡辺恵子
(文責) 中山憲一郎

■加高16期(昭和39年卒)

「東京39会」

◎城憲夫君が加治木の実家に帰る事になり令和元年7月6日に送別会を東京「街路樹」にて開催。男7名、女1名参加。
◎令和元年関東39会を12月21日に東京「街路樹」にて開催。男7名、女1名参加。
◎令和2年は12月19日(土)に東京「街路樹」にて開催予定。

■加高31期(昭和54年卒)

◎第31期(昭和54年卒) 関東地区同期会を、脇岡弘典代表幹事の下、東京・神田の魚海船団で年2回(夏・冬)開催し、毎回30名程度集まり、仲間と親交を深めています。
また、毎年鹿児島から上京参加の懐かしい顔も、同期会を盛り上げて来ています。

◎令和元年度30年度は、7月6日(土)〔参加者27名〕、11月30日(土)〔参加者34名〕で実施。
◎令和2年度は、7月4日(土)、11月28日(土)に東京・神田の魚海船団にて開催予定。

◎この会報を目にした同級生は、是非、連絡を下さい。同期会参加を、お待ちしております。

☆連絡先・大岩根正浩

(080-5055-7581)

2019年度秋季大会(11月中止)

今回は日頃参加いただいております方々の都合が付かず残念ながら中止と致しました。
2020年も春季コンペと秋季コンペを予定しておりますので大勢のご参加をお願い致します。

